

「価値づくり」カパワーアップ講座

支援概要

ユーザー視点に立ち、本質的なユーザー課題の発見、アイデア探索から、解決策を具現化するための試作・検証を通じて最終形に作り込むデザイン思考の考え方・手法を学ぶ、現場技術者から経営者まで幅広い人材を対象とした講座です。

令和3年度は要望が多かった体験を中心とした講座をオンラインにて開催しました。地域企業と県内大学・高専等との産学連携を促進するため、学から活用可能なシーズを提供することにより自社のものづくり技術の高度化、発展の足掛かりとなる機会を提供しています。

支援経緯

2018年「中小企業の特定ものづくり基盤技術の高度化に関する指針」の改正がなされ、ユーザーの潜在的な課題や期待に対して、自らの保有技術とビジネス価値を同期させるプロセスを導入し、ユーザーや市場ニーズを満足させる付加価値の高いサービス・機能・ソリューションの開発・提供を進めていくことが、中小企業経営にとっても重要であることが明記されました。

同年経済産業省と特許庁が、『デザイン経営』宣言」と題する報告書を発表しました。この背景にある考え方・方法論が「デザイン思考」です。実践する企業とそうでない企業では、4倍もの利益差があるとのデータも紹介されました。

この動きを踏まえ、2019年度から地域の中小製造業向けに「デザイン思考」

に関わる体験講座を行ってきており、参加者からは好評をいただいております。

活動実績・成果

方法 4回のシリーズ開催
オンライン開催(ZOOMのブレイクアウトルームを活用したチームワークも組み入れて実施)

講師 (株)J-NEXUS
代表取締役 上野敏良 氏

参加者数 12名

- 第1回 7月13日
 - 1 デザイン思考とは?
 - 2 テーマの設定「〇〇体験を新しくデザインする」
- 第2回 7月20日
 - 1 インタビュー結果の共有及びチームユーザーへの共感
 - 2 ニーズ及びインサイトの発見「問題提起」
- 第3回 7月27日
 - 1 アイデア創造プロセスの実践
 - 2 アイデアの施策「プロトタイピング」～「ユーザーテスト」
- 第4回 8月3日
 - 1 ユーザーテストの結果反映
 - 2 発表用資料作成、全体発表



オンライン開催の状況

アルプスイノベーション研究会

支援概要

本研究会では、創業から積み重ねられてきた自社の見えざる強み(知的資産)を基にした経営戦略シートの作成を通じて「知的資産経営」に関する個別企業の支援を行うことで企業の事業展開と業績の向上に結びつけることを目的としています。中小企業診断士、技術アドバイザーによる経営者・中核社員へのヒアリング(深堀)と工場視察を中心に約半年間による企業分析を実施して、今後の取組に関する提言を知的資産経営報告書としてまとめ、幹部対象に報告会を実施しました。

支援経緯

創業、創業2代目等の若手経営者層を対象に各社の実態に合わせた技術イノベーション、生産イノベーション、ビジネスイノベーションの達成を目的とするアルプスイノベーション研究会において、ビジネススクールや講演会を通じて会員企業への支援を実施してきました。

3年前より競争優位の源泉となる自社の強み(知的資産)に着目して、それぞれの価値の創造と維持を追求した「知的資産経営」を実践するために個別支援を実施してきています。

活動実績・成果

講座内容

全6回(月1回、2~3時間/回)

- 1 社長ヒアリング①
- 2 社長ヒアリング②、工場内見学
- 3 キーマンヒアリング

- 4 経営戦略シートによる内容確認
- 5 知的資産報告書案提出、内容確認
- 6 報告会

コンサルタント

- 金子宜昭 氏
(中小企業診断士)
- 田口宗治 氏
(技術アドバイザー)
- 池田博通 氏
(技術顧問、塩尻市振興公社)
- 杉本守 氏
(アドバイザー、松本ものづくり産業支援センター)

知的資産の活用

- 1 強みを活かした事業展開、事業戦略への反映及びイノベーション、独自製品開発
- 2 自社への理解が深まり、社員の意識が向上や共感する人材の採用
- 3 取引先、顧客、金融機関からの信頼感向上
- 4 補助金申請書への活用



知的資産経営報告書



企業幹部への報告会開催状況

大学・高専・企業との産学官連携交流事業

支援概要

地域企業と県内大学・高専等との産学連携を促進するため、学から活用可能なシーズを提供することにより自社のものづくり技術の高度化、発展の足掛かりとなる機会を提供しています。

令和3年度は、「産学官連携交流会 in 松本 2021」と題して、松本ものづくり産業支援センターを配信会場として、昨年度に続きオンライン開催としました。

支援経緯

令和3年度で18年目を迎え、当地域センターでは長い歴史を持つ看板事業となります。

オンライン開催においては、シーズ発表を中心とした構成となっておりますが、会場開催においては、県内の注目企業のニーズ紹介も併せて行ってまいりました。

松本地域産学官連絡会、信州大学学術研究・産学官連携推進機構、国立長野高専地域共同センター、長野県松本地域振興局、松本市、塩尻市、安曇野市、松本商工会議所等から共催または後援を頂いています。

活動実績・成果

〈特別講演〉

開催日 9月21日

「思いの経営」を基礎としたイノベーション研究・教育から見えること」

講師 長野大学 企業情報学部
森俊也 学部長

〈研究発表〉

- 「自然エネルギー利用・炭素循環によるゼロカーボン地域の構築」
講師 信州大学繊維学部 化学・材料学科 高橋伸英 教授
- 「光触媒を用いた人工光合成技術」
講師 信州大学工学部物質化学科 影島洋介 助教
- 「絶縁体材料に対するワイヤ放電加工技術について」
講師 国立長野工業高等専門学校 電子制御工学科 花岡大生 准教授
- 「動力学的安定性を有するパーソナルモビリティの開発」
講師 公立諏訪東京理科大学 工学部機械電気工学科 星野祐 教授
- 「センターAIキットについて」
講師 長野県工業技術総合センター 環境・情報技術部門 情報システム部 研究員 坂本潤嗣 氏

参加申込者数 120名



配信会場（松本ものづくり産業支援センター）の様子